

平成31年度 学校自己評価システムシート (県立川越南高等学校)

目指す学校像	文武両道を実現し、新しい時代に活躍する自立した社会人を育成する学校
--------	-----------------------------------

重点目標	1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して確かな学力を養成する。 2 意欲的な学習態度を育み、第一志望を実現させる組織的・継続的な進路指導を行う。 3 部活動・学校行事に主体的に関わることを通して自立した生徒を育成する。 4 積極的に情報発信し、地域社会からの信頼と期待に応える学校づくりを推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 ・未来を拓く学びプロジェクト研究開発員の授業改善の取組、全HR教室へのプロジェクトの設置等を受けて県の先端をいくICT教育が展開され始めた。 【課題】 ・学校評価アンケートで、文武両道の文の達成度が5割・6割台であることから文を充実させるため、ICT教育の拡充及び様々な角度から学力向上・授業改善の取組が必要である。	学力向上・授業改善を組織的・継続的に取り組む。	①教科・学年及び進路指導の関連性を意識させることによって予習・授業・復習等学習サイクルを定着させる。 ②プロジェクト、タブレット端末をはじめICTを活用した授業等を通して主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が進んだか。 ③総合的な探究の時間をカリキュラム・マネジメントに基づいて実施するとともに新学習指導要領に向けた新教育課程の原案を策定する。	①予習・授業・復習等の学習サイクルが定着したか。学校評価アンケートの好評価が7割台となったか。 ②主体的に学習に取り組む態度や深い学び・深い考察が見られるようになったか。 ③カリキュラム・マネジメントに基づいた総探が実施できたか。新教育課程の原案ができたか。			
2	【現状】 ・30年度卒業生は1年次からの組織的・継続的な進路指導が奏功し、90%を超える高い現役合格者を達成した。 【課題】 ・全ての生徒が大きな目標と高い志を持ち、持てる力を最大限発揮できるよう1年次から組織的・継続的に進路指導・支援をする。その際自習室の活用、志を高めるキャリア教育やチャレンジする環境を整備する必要がある。	生徒に大きな目標と高い志を持たせ、第一志望を実現する。	①学習習慣を確立させる進路指導・キャリア教育を保護者との連携を重視しながら行う。 ②全員受験模擬試験の定着及び新入試制度に対応した指導体制を整備する。 ③自習室の活用、進学補習、進路ガイダンス、模試実施・フィードバック、卒業生との懇話会等で、進路実現を支援する。保護者には進路講演会、大学視察会を実施する。 ④評価の高い国際理解教育の一層の充実のため、生徒のチャレンジ精神を喚起すると共にグローバル教育を推進する。	①学年・進路通信配布時に解説等を加え学習への動機付けができたか。学校評価アンケートで好評価が7割台となったか。 ②模擬試験が定着したか。また、新しい入試制度に対応した指導体制の整備が進んだか。 ③各学年で積み重ねたキャリア・ガイダンス、進学補講を活用して第一志望合格を達成できたか。 ④積極的にチャレンジする生徒が増加したか。またグローバル教育を通して主体性を育めたか。			
3	【現状】 ・学校評価アンケートで、文武両道の武(部活動・学校行事等)の達成度が8割・9割台と極めて高い達成を実現している。 【課題】 ・交通安全や自他の安全を配慮した指導を充実させながら学校評価アンケートで評価の高い部活動、学校行事の一層の充実を図る。また手厚い教育相談体制の一層の充実を図る。	質の高い部活動・学校行事を通して心身の健全な生徒・自立した生徒を育成する。	①新たに策定した部活動がトライに沿った質の高い部活動を通して全人教育を一層充実させると共に目標達成に向けて挑戦する生徒を育成する。 ②学校行事を自分たちの手でよりよいものにしていくことを通して主体的で自立した生徒を育成する。 ③教育相談について、スクールカウンセラーと学年・教育相談委員会が連携して組織的に支援を進める。	①全人教育が進捗したか。学校評価アンケートで部活動・行事に関する内容に好評価を得ることができたか。 ②生徒の自立性が育ったか。学校評価アンケートで学校行事に関する内容に好評価を得ることができたか。 ③スクールカウンセラーを活用し、情報の共有や支援の連携を図れたか。			
4	【現状】 ・創立45年を迎える地域に根ざす学校として大東中学校生徒対象の理科教室、吹奏楽部の保育園での演奏をはじめ地域と交流を盛んに行っている。 【課題】 ・HPの掲載事項を常に最新の状態にし、中学校の生徒・保護者、社会地域へ本校の魅力的な取組を情報発信する。	最新の情報を継続して発信すると共に地域と連携を深めることで、開かれた学校づくりを推進する。	①HPの掲載事項を常に最新の状態にする。川南通信に加えて部活動の活動状況を積極的に情報発信していく。 ②理科教室の実施や自治体への「なんこう新聞」の配布を通して地域と連携を深める。 ③部活動を通じた地域との交流や小学校への学習ボランティア等小中学校や地域と連携し、貢献する。	①学校評価アンケートで、HPに関する内容の評価が向上したか。 ②中学校や地域の方から肯定的な評価を得ることができたか。「なんこう新聞」を近隣の方々に愛読してもらえたか。 ③地域との交流や小中学校支援ができたか。			

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	平成	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			